

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和7年2月28日

協議会名: 上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会

評価対象事業名: 地域公共交通再構築調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
<p>①協議会開催・運営 内容: 鉄道の今後のあり方検討等 結果: 第4回(R6.7.4)、第5回(R7.2.12予定)</p> <p>②経営連絡分科会(※)開催・運営 結果: 第1回(R6.5.10)、第2回(R6.9.5)、第3回(R6.11.13)、第4回(R7.1.9) ※協議会の下部組織として設置し、より専門的な協議を実施(非公開)</p> <p>③潜在的利用者、鉄道価値の把握に関する調査 内容: 実証実験(群馬県民限定1日定額乗り放題キャンペーン)追跡アンケート調査、沿線高校生保護者アンケート、沿線事業所等アンケート等 結果: 2月の協議会で最終報告</p>	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>次年度以降、沿線の地域公共交通計画・実施計画策定を見据えた具体案の検討を進める予定</p>

<p>地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)</p>	<p>事業が計画通りに適切に実施されており評価できる。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今後のあり方に関する基本方針」を明確に打ち出し他の模範となり得る。 ・上信電鉄、上毛電気鉄道、わたらせ渓谷鐵道の3社共通化のような部分について、自治体がリーダーシップをとって進められていることは素晴らしい。この後、3社の関係が良い方向に実績が出るように、ぜひ頑張してほしい ・一歩進んだ取組となっており、他の地域でも役に立つと思う
--	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和7年2月28日

協議会名: 上毛電気鉄道沿線地域交通リ・デザイン推進協議会

評価対象事業名: 地域公共交通再構築調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
<p>①協議会開催・運営 内容:鉄道の今後のあり方検討等 結果:第4回(R6.6.25)、第5回(R6.9.11)、第6回(R7.1.27)</p> <p>②経営連絡分科会(※)開催・運営 結果:第1回(R6.5.13)、第2回(R6.8.29)、第3回(R6.11.6)、第4回(R6.12.26) ※協議会の下部組織として設置し、より専門的な協議を実施(非公開)</p> <p>③潜在的利用者、鉄道価値の把握に関する調査 内容:実証実験(群馬県民限定1日定額乗り放題キャンペーン)追跡アンケート調査、沿線高校生保護者アンケート、沿線事業所等アンケート等 結果:1月の協議会で最終報告</p>	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>次年度以降、沿線の地域公共交通計画・実施計画策定を見据えた具体案の検討進める予定</p>

<p>地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)</p>	<p>事業が計画通りに適切に実施されており評価できる。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・「今後のあり方に関する基本方針」を明確に打ち出し他の模範となり得る。 ・上毛電気鉄道、上信電鉄、わたらせ渓谷鐵道の3社共通道のような部分について、自治体がリーダーシップをとって進められていることは素晴らしい。この後、3社の関係が良い方向に実績が出るように、ぜひ頑張してほしい ・一歩進んだ取組となっており、他の地域でも役に立つと思う</p>
--	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和7年2月28日

協議会名: わたらせ渓谷鐵道沿線地域交通リ・デザイン推進協議会

評価対象事業名: 地域公共交通再構築調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
<p>①協議会開催・運営 内容: 鉄道の今後のあり方検討等 結果: 第4回(R6.7.2)、第5回(R7.2.4予定)</p> <p>②経営連絡分科会(※)開催・運営 結果: 第1回(R6.5.20)、第2回(R6.9.11)、第3回(R6.11.11)、第4回(R7.1.15) ※協議会の下部組織として設置し、より専門的な協議を実施(非公開)</p> <p>③新たな収入確保策に関する調査 内容: インバウンド観光客アンケート調査、沿線高校生アンケート、沿線企業アンケート等 結果: 2月の法定協議会で最終報告</p>	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>次年度以降、沿線の地域公共交通計画・実施計画策定を見据えた具体案の検討を進める予定</p>

<p>地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)</p>	<p>事業が計画通りに適切に実施されており評価できる。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・「今後のあり方に関する基本方針」を明確に打ち出し他の模範となり得る。 ・わたらせ渓谷鐵道、上信電鉄、上毛電気鐵道の3社共通化のような部分について、自治体がリーダーシップをとって進められていることは素晴らしい。この後、3社の関係が良い方向に実績が出るように、ぜひ頑張ってもらいたい ・一歩進んだ取組となっており、他の地域でも役に立つと思う</p>
--	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進等に係る事業)

令和7年2月28日

協議会名: 上信電鉄沿線市町村連絡協議会

評価対象事業名: 地域公共交通再構築調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
<p>継続的な利用が期待できる沿線住民をターゲットとして、潜在的な利用者の掘り起こしを行うため、実証事業を実施</p> <p>①上信線・上毛線1日定額乗り放題キャンペーン 内容:群馬県民を対象に、上信線・上毛線がそれぞれ1日大人500円(小人250円)で乗り放題となるキャンペーンを9月・10月の2ヶ月間実施。平日は65歳以上の群馬県民、土日祝日は全ての群馬県民を対象とし、チケットはGunMaaS(群馬県版MaaS)においてデジタルで販売。また、キャンペーンの効果検証のため、チケット購入者だけでなく未購入者も対象としたアンケート調査を実施。</p> <p>結果:チケット売上枚数は1,034枚で、目標の1,000枚を達成できた。アンケート調査によれば、回答者の約8割が普段は上信線を利用しておらず、キャンペーンが新規顧客の獲得につながったことがわかった。また、キャンペーンの実施により、回答者の約3割に自家用車の利用を控えるような行動変容・意識変容が生まれたことがわかった。</p>	<p>計画どおり事業は適切に実施された。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>今回はデジタルチケットのみで実施したが、紙チケットの必要性についても検討が必要。</p> <p>また、観光目的での利用が多かったことから、沿線の観光施設等と連携することで大きな効果を期待できる可能性がある。</p> <p>実証事業により利用促進への効果が確認できたことから、より効果的な方法を検討しつつ、引き続き潜在的利用者の掘り起こし施策に取り組む。</p>

<p>地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)</p>	<p>事業が計画通りに適切に実施されており評価できる。 引き続き鉄道利用への促進策に取り組みながら、検証結果を今後の上信電鉄沿線地域交通のり・デザインの協議に活用して頂きたい。</p>
--	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進等に係る事業)

令和7年2月28日

協議会名: 上毛線再生協議会

評価対象事業名: 地域公共交通再構築調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
<p>継続的な利用が期待できる沿線住民をターゲットとして、潜在的な利用者の掘り起こしを行うため、実証事業を実施</p> <p>①上信線・上毛線1日定額乗り放題キャンペーン 内容:群馬県民を対象に、上信線・上毛線がそれぞれ1日大人500円(小人250円)で乗り放題となるキャンペーンを9月・10月の2ヶ月間実施。平日は65歳未満の群馬県民、土日祝日は全ての群馬県民を対象とし、チケットはGunMaaS(群馬県版MaaS)においてデジタルで販売。また、キャンペーンの効果検証のため、チケット購入者だけでなく未購入者も対象としたアンケート調査を実施。</p> <p>結果:目標販売数1,000枚に対し、チケット売上枚数は731枚となり、目標達成には至らなかった。 一方で、アンケート回答者の約7割が普段は上毛電鉄を利用しておらず、キャンペーンが新規顧客の獲得につながったことがわかった。 また、キャンペーンの実施により、利用者の約3割に自家用車の利用を控えるような行動変容・意識変容が生まれたことがわかった。</p>	<p>A</p> <p>本事業については、潜在的な利用者の掘り起こしを目的として行い、アンケート回答者の約7割が普段、上毛電鉄を利用していない者であり、新規顧客の獲得につながったことがわかった。目標販売数には及ばなかったものの、アンケートにより普段利用しない方々がどのように上毛電鉄を利用するのか、潜在的なニーズを調査することができ、今後の利用促進の施策に反映できるデータを得ることができた。 本事業の実施により得られたデータにおいても、今後においても潜在的な利用者の掘り起こしにつなげることができることから、事業実施は本来の目的に則って適切に行われたものと思料する。</p>	<p>今回はデジタルチケットのみで実施したが、紙チケットの必要性についても検討が必要。 また、利用者の目的地から少しおでかけをするような利用傾向が見られたことを踏まえると、沿線商店や商店街等との連携により利用者増の効果が期待できる。実証事業により利用促進への効果が確認できたことから、より効果的な方法を検討しつつ、引き続き潜在的利用者の掘り起こし施策に取り組む。</p>

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	事業が計画通りに適切に実施されており評価できる。 引き続き鉄道利用への促進策に取り組みながら、検証結果を今後の上毛電気鉄道沿線地域交通のり・デザインの協議に活用して頂きたい。
---------------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進等に係る事業)

令和7年2月28日

協議会名: わたらせ渓谷鐵道再生協議会

評価対象事業名: 地域公共交通再構築調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
<p>「トロッコ列車、普通列車のチケット購入の利便性の向上を図り、首都圏からの通勤圏内にある恵まれた原生林を、都市部生活者の本物の大自然を活用した保養地化(日常利用化)し、首都圏と身近にある大自然を結ぶ身近な鉄道として、新たな利用者層を創出に寄与した」</p> <p>(内容)</p> <p>①今後の利用促進に繋げるための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在GunMaaS上では「1日乗車券」「普通乗車券」の購入ができるが、運輸収入の多くを占めるトロッコ列車の「トロッコ整理券」も購入できるシステムの構築を進めるため、既存のGunMaaS乗車券購入システム及び試験的に導入したHP上でのチケットレス購入システムの利用者にアンケート調査を実施したため、次年度のシステム構築に活用していく。 ・11月1日～1月31日の期間中、乗車中の車窓または停車駅から“沿線の大自然”をテーマに撮影した写真をXに投稿して頂くフォトキャンペーンを開催し、参加者にノベルティを配付した。 ・11月1日～1月31日の期間中、わたらせ渓谷鐵道沿線のゆるキャラをあしらった駅名標と一緒に写真を撮って頂き、写真を駅員へ掲示頂くことで、駅数に応じてノベルティを配付し、全駅制覇者には記念品を進呈するスタンプラリーを実施した。 <p>②利用促進のための取り組み(国庫補助対象外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイキング&ウォーキング客を呼び込むため、駅構内の既存の観光案内板を観光施設を記したものから沿線大自然の鳥瞰図に変更し、合わせて鳥瞰図を使ったパンフレットを作成した。 ・駅周辺の自然のPR及びリピーター客を呼び込むため、駅周辺の自然をあしらったスタンプを全ての駅で作成し、デジタルスタンプラリーを実施した。 ・駅構内の小さな自然に触れるとともに、駅環境への意識や親しみをもってもらうため、あじさいの名所となっている沢入駅で駅前環境の整備を行うことを目的に「あじさい植樹祭」を開催した。 	<p>事業が予定通り適切に実施された</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各駅のイルミネーション事業は例年実施しており、今後も事業継続をし、「イルミネーション号」についても冬期のイベントとして毎年運行していく。 ・アンケート調査・集計は継続中であるが、利用者からの意見を踏まえながら、誘客及び利用者の利便性向上に向けて改善を行っていく。 ・わたらせ渓谷鐵道の外流入を促進及び、付加価値創出のため、参考となるスポット2拠点(水沼ヴィレッジ、タカオネ)における人流データを活用した来訪者様相の分析を行っていく。

<p>地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)</p>	<p>事業が計画通りに適切に実施されており評価できる。 引き続き鉄道利用への促進策に取り組みながら、検証結果を今後のわたらせ渓谷鐵道沿線地域交通のり・デザインの協議に活用して頂きたい。</p>
--	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)【案】

令和7年2月28日

協議会名: JR吾妻線(長野原草津口・大前間)沿線地域交通検討会議

評価対象事業名: 地域公共交通再構築調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
<p>沿線利用実態調査 内容: JR吾妻線(長野原草津口・大前間)の利用者の約8割を占める高校生とその家族に対して実施したアンケート調査の集約・解析を行い、日々の登下校の移動手段等について詳細を把握する。 結果: 2024年12月24日、JR吾妻線(長野原草津口・大前間)沿線地域交通検討会議にて最終報告を実施。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	移動手段の詳細把握と共に、沿線に居住の高校生の進学先選択が制限されていることや、家族の送迎により通学が成立している等の課題を確認することができた。課題の緩和が図られ、この地域に必要とされる公共交通の在り方について本検討会議等にて議論を進め、具体的な方向性の提案策定を進める予定。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	事業が計画通りに適切に実施されており評価できる。今後も地域とコミュニケーションをとりながら、沿線地域における現状や課題を共有し、今後の地域の交通体系のあり方について検討を進めて頂きたい。
-------------------------	---

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和7年2月28日

協議会名: ひたちなか市公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域公共交通再構築調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <p>1. 協議会開催・運営 R6.10.30協議会開催(R6年度2回目) 「鉄道事業再構築実施計画」の策定経過について R7.1.27協議会開催(R6年度3回目) 「鉄道事業再構築実施計画」の策定に向けた調査事業の事業評価について</p> <p>2. 計画作成に向けた調査事業(事業未完了) 「トーニテコンサルタント」(R6.7.19契約 契約期間R7.3.14まで)</p> <p>(1)ひたちなか海浜鉄道の現状の整理 内容: 湊線の沿革、運行及び利用、収支等の現状把握のための調査及び分析 結果: 湊線の現状分析及び経営安定化に向けた問題点等を整理</p> <p>(2)沿線及び周辺状況の整理 内容: まちづくり計画における湊線の位置付けの把握、人口動向や観光入込客数等の調査及び分析 結果: 将来まちづくりに向けた湊線の位置づけ、湊線を取り巻く情勢等を整理</p> <p>(3)将来設備更新等の整理(調査継続中) 内容: これまでの設備更新状況等を調査し、その結果から将来の設備投資の必要箇所を推計 結果: 令和7年度から10年間の設備投資内容を整理(3月完了見込み)</p> <p>(4)利用促進方策等の検討 内容: 今までに展開された利用促進策を調査し、新たな利用者利便確保策の検討材料を整理 結果: 国営ひたち海浜公園西口付近への延伸を基軸とした利用者利便確保施策を整理</p> <p>(5)需要予測及び収支計画検討 内容: 通勤、通学、定期外輸送人員の実績と人口動態傾向等を調査し、将来の需要予測と収支推計を実施 結果: 鉄道事業再構築事業を実施する場合・実施しない場合の需要と収支を推計</p> <p>(6)鉄道の維持・確保の支援方策整理 内容: 上記(3)、(4)で検討した検討した維持・確保策について、活用可能な補助制度等の調査検討及び沿線地域における利用促進のための活動に関する調査を実施 結果: 活用可能な補助制度及び現在実施している沿線地域における利用促進のための活動を整理</p> <p>(7)事業による効果・影響等の検討 内容: 上記(5)の推計結果を基に、鉄道事業再構築事業による効果及び影響を整理 結果: 鉄道事業再構築事業による効果(利用者数・事業収支)を推計</p> <p>「鉄道・運輸機構」(R6.8.19協定締結 協定期間R7.3.14まで)</p> <p>(1)ひたちなか海浜鉄道湊線の鉄道事業再構築実施計画の策定に向けた協議の支援 内容: 延伸区間を含む鉄道事業再構築実施計画策定に向けての支援 結果: 計画案に対する協議の実施、関東運輸局協議同行(R6.10.7, R7.1.8)</p> <p>【結果概要】 計画策定に向けた調査結果等を踏まえ、「湊線鉄道事業再構築計画(案)」の作成を進めている。</p>	<p>調査事業は適切に実施されている</p> <p>A</p>	<p>・協議会で「湊線鉄道事業再構築実施計画(案)」の最終検討を行ない策定予定</p> <p>・事業構造の変更は鉄道施設の維持管理費用や設備投資費用、車両整備に関する費用等を地方公共団体が負担する「みなし上下分離」として整理する方針</p> <p>・利用者利便の確保に関する事項に、沿線住民や観光客の移動の利便性向上が見込まれる国営ひたち海浜公園西口付近への延伸を位置づける</p>

<p>地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)</p>	<p>事業が計画通りに適切に実施されており評価できる。 今後も協議会による検討を進め、鉄道事業再構築実施計画等の具体的な計画の策定に繋げて頂きたい。</p>
--	---